

平成23年度

社会福祉法人慈照会事業計画

通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業

平成23年度社会福祉法人慈照会事業計画

1. 基本方針

我が国の景気は、改善ペースの鈍化した状態から脱しつつあったが、東日本大震災によって、地理的にも広範囲に被害を受け、当面生産活動の低下が見込まれるほか、企業や家計のマインドの悪化も懸念される。復興資金10～20兆円の補正予算の財源確保は、不安定な政治情勢とともに次年度の介護保険改正に影響を及ぼすと考えられる。次期制度改正は、地域包括ケアシステムの実現と、持続可能な介護保険制度を二大テーマとしている。地域包括ケアシステムとは、交通手段を問わず、おおむね30分で移動できる「日常生活圏域」で、介護、医療、住まい、生活支援サービスなどを一体的に提供する体制である。介護職員処遇改善交付金が介護報酬に組み込まれることについても重要なポイントとなる。政治情勢を見極めながら、情報収集に努め対応を決定したい。

財務体質の改善策として、前年度の5,000万円の借入金の繰上げ償還に続いて、今年度も5,000万円を繰上げ償還し金利負担を軽減する。コスト削減については、取引業者の見直し、光熱水費の削減を中心に進める。法人の長年の課題であった財務体質は改善されてきたが、人材の定着が重要な課題となっている。特に職員間のコミュニケーション機会を増やす等働きやすい職場づくりを進め、定着に重点を置いた取り組みを進める。職員教育体制の充実、清潔感のある環境づくりについては、従来からの取り組みを進め、入居者、お客様のサービスの向上につながる環境、備品の整備も進める。

中長期的には、地方分権の流れの中、東近江市行政との信頼関係を深めながら、在宅介護サービス、受け入れを再開する配食サービス等を通じて地域の福祉課題の把握を進め、日常生活圏域で、社会福祉法人の介護の拠点として地域の様々な福祉需要にも対応していきたい。

重点目標は以下の通りとする。

※重点目標

(1) 人材確保と働きやすい職場づくりによる職員の定着

新規学卒者の獲得、派遣職員の直接雇用への移行、定期的な職員食事会の実施、月間 MVP 制度の充実、勤務優良・業務積極性評価、職員モラルの向上、職場の効率化（各種書類の見直し、記録の電子化の検討等）、会議の活性化・短時間化、時間管理の徹底

(2) 職員教育体制の充実とキャリアパスへの取り組み

施設内研修の充実、積極的な外部研修への参加、シルバー人材・中途採用職員教育体制の整備、介護福祉士資格取得促進、キャリアパスの導入

(3) 地域交流と貢献

配食サービス受け入れ再開、地域各種団体とのネットワークの強化、各種研修会講師派遣、建部地区徘徊模擬訓練参加、地域行事への積極的な参加、介護者教室の実施

2. 事業別重点目標

【通所介護事業】（定員：通常型25名、認知症型12名）

79,700,000円を収入目標とする。

【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

82,200,000円を収入目標とする。

共通重点目標：お客様の能力を引き出すサービス展開

お客様に有意義に過ごしてもらえるように、クラブ活動を行い、満足していただけるサービスを目指す。クラブに分けることにより、ひとりでも多くのお客様が参加できる体制を目指す。

【訪問介護事業】

40,000,000円を収入目標とする。

重点目標：在宅生活を支えるプロのサービスの徹底

多方面の知識と情報力、基本介護技術、生活援助者としての倫理観・価値観を向上させ、ニーズの解決に努める。多様なニーズをもつお客様への対応力を高め、職員一人ひとりの訪問先、件数を伸ばす。

【居宅介護支援事業】

9,150,000円を収入目標とする。

重点目標：素早い対応と在宅看取りへの対応

新規受付からサービス導入まで、また日々の対応の速度をあげる。施設と高齢者増の現状を踏まえて、在宅看取り対応を進める

【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

195,000,000円を収入目標とする。

重点目標：日常生活の質的向上を目指す

入居者の日常生活を取り巻く環境をあらゆる視点から見直し、個々人がその人らしい当たり前の生活を送れるようにする。

【ケアハウス事業】（定員：15名）

重点目標：心身機能維持と意欲向上

入居者が重度化する中で、快適な生活環境、下肢筋力の低下予防（転倒予防指導）、入居者ニーズへの迅速な対応（懇談会内容含む）、趣味活動、行事の充実、排泄・衛生面での支援に取り組む。

3. 年間行事等

上半期		下半期	
4月	全体職員会議 第1回総合避難訓練	10月	入居者健康診断 職員健康診断 職員研修会⑤
5月	建部老人会介護教室 職員研修会① 理事会・評議員会（事業報告・決算）	11月	第2回夜間想定避難訓練 職員研修会⑥ 理事・評議員会（補正予算）
6月	職員研修会②	12月	職員研修会⑦
7月	地域防災会議 職員研修会③ 第1回夜間想定避難訓練	1月	年賀式
8月	カルナ納涼夏祭り 県指導監査	2月	第2回総合避難訓練
9月	カルナ敬老会 職員研修会④ 建部地域徘徊高齢者搜索訓練	3月	夜勤者健康診断 理事会・評議員会（事業計画・予算）

※施設内会議

経営会議（月1回） スタッフ会議（週1回）

デイショート会議（月1回） ヘルパー会議（月1回） 居宅介護支援事業所会議（月1回）

特養会議（月1回） ケアハウス会議（月1回） 事務会議（月1回） 給食会議（月1回）

※委員会活動等

研修教育体制プロジェクトチーム、環境整備委員会、情報開示委員会、事故・苦情防止委員会